

「小江戸川越igo川柳」応募作品 ※応募順

<1-1>白黒を 囲碁でつけろと 祖父が言う
<1-2>ギャラリーと 石に囲まれ 落ち着かず
<1-3>石を打つ 音だけいいねと 褒められる

<2>小江戸っ子 黒白つける 律儀者

<3>団子石 ならないように 貯筋する

<4-1>囲碁を観て 以後は川越 好きになる
<4-2>棋聖戦 祝って鳴らす 時の鐘
<4-3>棋聖戦 小江戸に氣勢 漲らせ
<4-4>白黒を つけぬ川越 温かい
<4-5>勝ち負けは あるが白黒 つけません

<5-1>碁敵が 目を白黒とする 珍手
<5-2>美女と打ち 碁盤を見ずに 顔を見る
<5-3>寝不足で うとうととして 時間切れ
<5-4>劫をすぐ 取って後悔する 負け碁
<5-5>縁台碁 勝負に負けて 口で勝ち

<6-1>白黒を すぐつけたがる 囲碁がたき
<6-2>脳と指 使って アンチエイジング

<7-1>棋聖戦 小江戸に春が 訪れる
<7-2>川越に 囲碁が来る来る プロも来る
<7-3>囲碁どうぞ お見知りおきを 蔵のまち

<8-1>石置くの 今でしょ!という 天の声
<8-2>倍返し してやりたいが 敵強し
<8-3>時間見て じゃえじゃえじゃえと言った 負け戦
<8-4>この試合 オセロのように 返らぬか
<8-5>正座する 足固まって 顔しかめ

<9-1>美しき 貝の石打つ 竜宮城
<9-2>碁盤の目 見ればスイッチ 入る脳
<9-3>碁碁くらい 打ち込みや成績 上がるのに
<9-4>2時間は 固まったまま お爺ちゃん
<9-5>脳トレと 負けじ魂 アスリート

<10-1>碁碁の町 川越來たり 碁碁持ちて
<10-2>対戦の 相手困らぬ 碁碁の町
<10-3>子と対戦 五目並べで すぐに負け
<10-4>何手先 読んでいいのか 妻の顔
<10-5>碁碁の手を 子から教わる 祖父の笑み

<11-1>ムコ舅 火花ちらした 以後は酒
<11-2>勝ち負けが 碁盤の音で 分かる妻

<12-1>勝って尚 頭垂れてる 強い人
<12-2>幼子も 碁盤挟めば ライバルと
<12-3>暇潰し 熱くなりすぎ 足りぬ暇
<12-4>碁碁だけが 上達してく 定年後
<12-5>先の先 読みすぎ今が 読めぬ石

<13-1>白黒の 意味合いを知る 歳になる
<13-2>アニメから 入った世界 碁碁世界
<13-3>じいちゃんのおさがりで打つ 碁碁かな
<13-4>引き継いだ 意思を碁碁に 込めて打つ
<13-5>さした手を 引き込む力 碁碁あり

<14-1>人生を 白か黒かで 決めている
<14-2>前後左右 囲まれたって 上がある
<14-3>本因坊に 五目並べなら 勝てるか
<14-4>人生は 曲がり角だね 団子石
<14-5>盤と石 そろえて入門書も 買った

<15-1>家庭でも 碁碁でも妻に 打つ手なし
<15-2>碁碁をする 子どもの目つき 半沢級
<15-3>じいちゃんが 碁碁の相手に 孫指名
<15-4>日焼けした 子と肌白い 祖父が打つ
<15-5>碁碁してる 横で三毛猫 あくびする

<16>テーブルの ケイマに身を置く 淡き恋

<17>黒番で 迎える小江戸の おもてなし

<18>江戸時代に タイムスリップ 川越で

<19-1>百面打ち 打たれ強さで また挑戦
<19-2>思案した あの手は一手で 真っ白け
<19-3>櫓見え 一手を誘う 旅の茶屋

<20-1>幼子の 言い争いと 碁碁の劫
<20-2>気が散って 布石欲張り 散り散りに
<20-3>今日こそは 白黒つけると また囲み
<20-4>台風の 目は一つだが 生きがいい
<20-5>若輩で 置き石も毛も 黒々と

<21-1>爺ちゃんの 睡眠薬に なる詰碁

- <21-2>碁を打って 前頭葉の 活性化
 <21-3>端正な 打碁の中身 殴り合い
 <21-4>大笹の 講釈だけは 有段者
 <21-5>悔しさが 先立ち反省 出来ぬ僕
- <22-1>強くうち 囲碁がピョーンと カエルとび
 <22-2>囲碁祭りの 前に観光 時の鐘
 <22-3>頭ひねって まゆ毛がハの字 への字
 <22-4>彼女の手を 握るチャンス この一手
- <23>基礎教え 根気が勝負 孫に囲碁
- <24>黒模様 やがて上手の 雪模様
- <25-1>無くなった 十円玉が碁笥(ごけ) にあり
 <25-2>爺ちゃんの 碁敵(ごがたき) 実は小学生
 <25-3>すわ地震 碁盤抱えるお 爺ちゃん
 <25-4>皮肉込め 碁を始めると ザル洗い
 <25-5>弱いのに 白持ちたがる 相撲好き
- <26-1>貞淑も 頭の中で 格闘技
 <26-2>師の言葉 辛抱足りない 私の碁
 <26-3>敗勢も 知らずハナ歌 打ち進む
 <26-4>再会を 約して碁会 ノーサイド
 <26-5>ひもとけば 平安に着く 碁の歴史
- <27-1>夫婦とは 定石通りに いかぬ仲
 <27-2>布石うち 妻はカタログ ページ折り
 <27-3>縁側の 囲碁が昭和へ 引き戻す
 <27-4>捨石を 使うか器 試される
 <27-5>ダメだしは 困るが恋には ダメ押しを
- <28-1>ひらめいた なんていい手か 目がさめた
 <28-2>勝負けは 若がえるための おまけです
 <28-3>囲碁仲間 手の動きみて 会話する
- <29>腕前の 白黒つける 碁盤の目
- <30-1>囲碁で知る 小江戸川越 粋な町
 <30-2>囲碁を知り 川越知って 好きになり
 <30-3>囲碁のよに 川越の街は 奥深い
- <31-1>大模様 バブルはじけて 小模様
 <31-2>亀の甲 縁起良いぞと 指しなる
 <31-3>コスミして 一間飛びして 逃げまくる
- <32-1>手解きの 笥のこどもに コテンパン
- <32-2>ダメ元の 置いた一目 大逆転
 <32-3>碁敵の 息子とわが娘(こ) 恋仲に
- <33-1>囲碁界に その人ありと 張井山
 <33-2>人生に 黒白着ける おもしろさ
 <33-3>赤はだめ 赤地が増えて 赤っぱじ
 <33-4>天才も 決着ついたか 以後井山
 <33-5>才能が ごろごろ石に 受け継がれ
- <34-1>急な雨 囲碁の仇に 傘を借り
 <34-2>強い碁が コーヒおごられ 弱くなり
 <34-3>逃げる石 おっかけ楽しみ きょうも囲碁
 <34-4>勝ってる碁 一味ちがう 石の音
- <35-1>死ぬ生きる 遠くお寺の 鐘が鳴る
 <35-2>碁敵に そっと差しだす 芋ようかん
 <35-3>やっこさ つないだ石が 欠伸する
- <36-1>黒と白 碁盤の中は 我が宇宙
 <36-2>戦略の 碁石蹴散らし 猫がゆく
 <36-3>芋せんべい 食べて碁敵 今日も待つ
 <36-4>夕涼み ひとり思案の 碁を打ちて
- <37>初めても 以後よろしくと ひと手うつ
- <38>初対面 以後よろしくで 終わる礼
- <39-1>黒と白 陣取り合戦 オセロじゃないよ
 <39-2>託す意思 悩む選択 人生模様
 <39-3>タイミング 外して後悔 後手後手に
 <39-4>白黒の タータンチェックで おしゃれに 決めっ
- <40>4・3を やっと覚えた 囲碁知らず
- <41>囲碁仲間 白黒つかず 半世紀
- <42-1>白と黒 小江戸の街で 名人戦
 <42-2>へボ碁碁は 目を白黒に 先読めず
 <42-3>江戸風情 碁盤の迷路に 迷い込む
 <42-4>囲碁まつり 小江戸の風情 笑顔満つ
 <42-5>集う人 小江戸の街の 風流人
- <43-1>囲碁と家事 手抜き上手な 妻に負け
 <43-2>長考と 思えば父は 舟を漕ぐ
 <43-3>欲しいのは 年の功より 亀の甲
 <43-4>チョコ贈る 打って返し の バレンタイン

<43-5>有段者 気づかれぬよう 孫に負け

<44>迷路中 泥にはまって 抜け出せず

<45-1>白と黒 碁盤に並ぶ 和のアート

<45-2>プロとアマ 勝負の世界 紙一重

<45-3>手と頭 汗をかきかき ポケ防止

<45-4>へぼ同志 妙手妙手の エンドレス

<46-1>欲しいもの 二回続けて 打つ権利

<46-2>根無し草 あちこち生えて 自滅する

<46-3>片隅で ひっそり生きる 黒い石

<47-1>白黒を つけるつもりが 真っ黒に

<47-2>素人が 四角の中に おいている

<47-3>黒豆と 大豆で憩う 野良仕事

<47-4>蛤の手は 食うまいと 苦労うする

<47-5>医者と石屋 どっちつかずの へぼ碁打ち

<48-1>プロだって ポカしますよと 慰める

<48-2>碁会所で 私が人気 ある理由

<48-3>技術より 心構えと 師に言われ

<48-4>参考書 揃えて強く なった気に

<48-5>偏差値は 高いが碁碁に 弱い奴

<49-1>仕事柄 布石はさすが 銀行マン

<49-2>腰痛も 碁碁になったら 粘り腰

<49-3>石抱え 盤上迷う オスプレイ

<49-4>黒よりも 白を選んだ ビタミン剤

<49-5>碁になると 無口な友が 能弁に

<50-1>井目に 風鈴置いて 勝てぬザル

<50-2>誰とでも 黒石つかむ 習い性

<50-3>対局と 言われて照れる 早打ち碁

<51-1>昼休み 碁を打ち過ぎて 叱られる

<51-2>昼の碁の 時間オーバー 大目玉

<51-3>ちょっと待て 俺はまだ石 置いてない

<51-4>おいおいおい またまた待ったか やりきれん

<51-5>名月の 明かりで打った 碁もあると

<52-1>陣取りじゃ 戦国同じと 碁盤見て

<52-2>先読まず 目先の欲追い 貧碁呼ぶ

<52-3>なぜ逃げる からまないのと 妻の石

<52-4>太っ腹 碁碁と体形 段三つつ

<52-5>ああ打てば よかった寝物 語りあり

<53-1>碁碁とはね 白黒はつきり つく勝負

<53-2>同窓会 黒より白が 困ってる

<53-3>現政権 白黒つけずに グレー打つ

<53-4>碁碁勝負 見ながら我が家は 鍋困う

<53-5>オセロから 碁碁へと変わる 大人かな

<54>困まれて 甘さと知るは 未熟さを

<55-1>けんかあと 父と対局 仲直り

<55-2>人生の 白黒つけると 習う碁碁

<55-3>背伸びして 碁碁を始めた 夏休み

<55-4>言葉など いらぬつながり 白と黒

<55-5>生き方の ヒントを学ぶ この盤上

<56-1>白黒を つけぬ政治家 碁碁を打ち

<56-2>碁碁の盤 学んだ熟語 四面楚歌

<56-3>三世代 あーだーこーだーと 碁碁の石

<57-1>定年後 居場所は病院 碁碁の会

<57-2>孫の前 碁碁で威厳を 保ってる

<57-3>碁碁の会 平均年齢 八十歳

<57-4>先生が 若い女性で ルンルンに

<57-5>私から 碁碁を取ったら 残らない

<58-1>はつきり しないなら碁碁で 白黒を

<58-2>あいまいな 私が始めたのは 碁碁

<58-3>あいまいな 自分を嫌い 碁碁はじめ

<59-1>黒白の 着かぬ碁碁と 孫自慢

<59-2>一目も 取れぬ碁碁と 職場かな

<60-1>上達の 叶わぬところが 碁碁の魅力

<60-2>青い目の 碁碁今日も ハウアーユー

<60-3>脳筋を 碁碁で鍛えて 呆け知らず

<60-4>碁碁の 杖確かめて 扉押す

<60-5>碁碁だけは 隠れて勉強 したくなる

<61-1>孫に碁を 教え三月で 歯が立たぬ

<61-2>一目を 置く指さきで 知る強さ

<61-3>踏み台に された碁碁が 泣いている

<61-4>碁を打つと 指より口が よく動く

<61-5>ゲーム碁は 厳しい場所に 容赦なく

<62-1>碁会所が 社交場なり 定年後

<62-2>ポケ防止 碁碁がいいよと 自慢する

<62-3>ライバルに 黒では負けて 白で勝つ

<62-4>碁会所の 縁で就活 成就する

<62-5>孫たちに 五目並べと 冷やかされ

<63-1>晴舞台 下手を打つなよ 蔵の街

<63-2>この一手 死活問題 時の鐘

<63-3>警部殿 亜季先生と 先手打つ

<63-4>駄目押しを 小江戸の街で 喰らうとは

<63-5>一番街 目算通り 勝ちに行く

<64-1>時の鐘 鳴り忘れそな 名対局

<64-2>棋聖戦 待つ川越の 熱い秋

<64-3>対局の 前においもで 腹ごなし

<64-4>百面打ち プロの手まるで コンピューター

<64-5>難局で プロ迎えたい 百面打ち

<65-1>リハビリは 孫とつながる ネットの碁

<65-2>定石じゃ 通じぬ妻との 碁と言ひ訊

<66>うちのボス 腹は黒いが 白で打つ

<67-1>凌ぎ合い 白黒付けて 領地取る

<67-2>捨石が 敵の陣地で 物を言う

<68-1>白黒の 決着つけたい 君と僕

<68-2>やる前に 逃げ足気になる 盤の上

<68-3>碁の勝負 カラー写真も ムダとなる

<68-4>囲まれて 逃げ出したいな 盤の外

<69>買い物も 囲碁も値切るの 上手い妻

<70-1>残ってる 孫が混ぜたか オセロ石

<70-2>切り絵のよう 囲碁・蔵・暖簾 時の鐘

<70-3>負け囲碁に 爺～爺鐘よと 孫助け

<70-4>孫相手 五目並べで 手ほどきし

<71-1>囲碁勝負 白黒つかず 盤返し

<71-2>ちょっと待て 待たねば待たぬ 貸した金

<71-3>白黒を 今日はずけると 白目むき

<71-4>負けが勝ち 勝負の後の 大局観

<71-5>碁にはまり 溺れ費やし 我が命

<72-1>しなる手に 蒸し芋の香 心地よい

<72-2>こうああと 口でも打って 倍楽し

<72-3>石はがし 恥じない面の 自慢顔

<72-4>勝手読み 日頃のクセが 碁盤にも

<72-5>夢に見る もがきまわって 頓死する

<73-1>笑顔出た どうも失敗 したらしい

<73-2>碁石打つ 音が大きい 威圧かな

<73-3>女性だと 九子局でも 負けてみる

<73-4>肩越しに あかんあかと 指図する

<73-5>定石を どっさり知って 負けている

<74-1>冬なのに 風鈴つけて イザ勝負

<74-2>俺の碁か 稼ぐそばから 消えていく

<74-3>白と黒 パンダ並みの 囲碁人気

<74-4>もし俺に 傍目があったら 勝ったのに

<75-1>名人と 呼ばれているが 井目で

<75-2>天元は どこの屋号と 碁会所で

<76>白黒を はっきりさせる 江戸の粋

<77-1>いい筋と 言われて今日も 負けている

<77-2>定石で 負ける碁敵 非常石

<77-3>ロボットに 負ける悔しさ WEB囲碁

<77-4>囲碁講座 開眼するが やはり負け

<78-1>白魚の 指が鋭い 急所打ち

<78-2>碁会所が お慈悲で呉れた 初段格

<78-3>連敗に 止めた筈だが 囲碁通い

<78-4>銭湯に 呉越同舟 碁敵と

<78-5>タラレバで 勝ちを逃がした あの一手

<79-1>その陣地 ぐらいの土地が あつたらなあ

<79-2>囲碁しよう！ 昔碁会所 今スマホ

<79-3>待ったなし！ 囲碁も政治も 真剣に

<80-1>武器を捨て 囲碁で戦い 来る平和

<80-2>耐震で 震度五までは 打てる囲碁

<81-1>碁を打って 恋の布石は まだ打てず

<81-2>オセロ部 が挟んだ黒を 白に替え

<81-3>打つべし！ とやたらうるさい 傍観者

<82-1>小江戸にて 碁リンピックの おもてなし

<82-2>碁敵が また徘徊と 間違われ

<82-3>手に汗を 握るざる碁で 救急車

<82-4>癩癩を 交互におこす フラミンゴ(碁)

<82-5>下半期も また半目で 生き残り

<83-1>碁仇は 生涯の友 へぼでよし

<83-2>敗因は あの一手かと まだ未練

<83-3>打つ手なし 囲碁ならどうする 打開策

<83-4>舌戦に 夢中になって 手は止まる
<83-5>盤上に ふたりで描く 生きる様

<84-1>白黒を つける一手に 力込め
<84-2>囲碁のよう 先が読めれば また楽し

<85-1>恋敵 今はしっかり 碁敵に
<85-2>碁敵に ほんにんぼうと 呼ばれてる
<85-3>碁をしない 旦那見とれる 美人棋士
<85-4>父の碁で 下手の横好き 意味わかる
<85-5>いい年の 親父盤見て うなってる

<86-1>腹黒い あなたの方が 白い石
<86-2>囲まれた 碁石が僕に 見えてくる
<86-3>陣地取り 日本政府に 教えよか
<86-4>勝利目前 タマが碁石を 蹴散らかす
<86-5>念力で一 目動け 僕の石

<87-1>小気味よく 響く碁石と 時の鐘
<87-2>白と黒 碁石と蔵に 囲まれて

<88-1>いまの世で 白黒つける 小気味よさ
<88-2>7年後 囲碁オリンピックも やりたいな
<88-3>7年後 五輪見ながら 孫と打つ

<89-1>コミュニティー 面と向かって 囲碁将棋
<89-2>オセロなら 囲碁より上手 教えたら
<89-3>囲碁ですが みんな見ている 困ってる
<89-4>囲碁の以後 パソコンゲーム はまってる
<89-5>碁石なら 大きく見える 白が好き

<90-1>プロの技 眼を白黒とさせて 見る
<90-2>碁と共に 人生論も 教えられ
<90-3>先をよむ プロの頭脳に 腕磨く
<90-4>上達の 腕を教える プロの技
<90-5>先を読む 囲碁の世界に 魅せられる

<91>心打つ 対局期待 棋聖戦

<92-1>人も碁も 絆が大事と 一手入れ
<92-2>碁に勝った 父は幸せ 一人占め
<92-3>意地悪な 上司を囲碁で 倍返し
<92-4>困うのは 碁だけにしてねと 妻の愚痴
<92-5>白黒の 石が悩みを 消してくれ

<93-1>見たことも 無い手を打って 困らせる
<93-2>考えた 末の一手が 悪すぎる

<93-3>敵の裏 かいた積もりが 皆捕られ
<93-4>大局に 置く白石に 無駄がない
<93-5>どの石も 大事へ碁碁の まま負ける

<94-1>i g oのまち 川越に i g o 碁を打ちに
<94-2>いごっそうも 土佐から川越 囲碁打ちに

<95>白に黒 碁石と蔵に 囲まれて

<96-1>失恋を 投了と言い 笑われる
<96-2>「ヒカルの碁」 読んで毎日 盤磨く
<96-3>癒されし 碁笥(ごす)へと戻す 石の音

<97-1>負けた時 必ず碁盤の せいにする
<97-2>白黒を 付けてくるよと 碁会所へ
<97-3>碁会所の 休みの日には 医者通い

<98-1>人生も 2手先読みたし 碁のように
<98-2>分が悪きゃ 何故か連発 おーいお茶
<98-3>上達は 那智巡礼で 願掛ける

<99-1>子の心 囲む技は 負け具合
<99-2>囲む味 相手の逆転 はねかえし
<99-3>名城の 堀の形に 黒攻める
<99-4>取る石に 気持ちを込めて 盛り上げる
(ときも)
<99-5>ときめきも こらにしめして てをかくす
(ときも)